

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日更新

事務事業名		合志音頭制作普及事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	商工振興課
	施策の柱	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	商工振興班
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑦
	一般	7	1	2	11524		コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 ~ 30 年度)			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成22年度に合志市民の一体感を高める為、合志市音頭を制作し、市外へも広く合志市のPRを行うため歌詞の公募を実施した。制作後は多くの市民が音頭に触れる機会を作る為、自治会や学校等にCDを配付した。現在はCDの一般販売および振付講師の派遣を行っており、更なる普及活動に努めている。
【業務の流れ】	各種団体より振付講師の派遣依頼があった際に、市から講師へ依頼し、講習会終了後に講師へ費用弁償を支払う。
【主な予算費目】	費用弁償
【意見や要望】	市民の方から振付のDVDはないのでしょうかとの問い合わせが数多く寄せられている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	振付講習会への講師派遣、合志市秋祭りでの総踊りの実施	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 28年度も引き続き前年同様の活動を展開していく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ア:音頭振付講師派遣回数(のべ回数)	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ア:人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	交流を深め一体感を高める。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
		→ア:小中学校や各地区等で音頭を使用した件数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~30年度
成果指標は、市民の参加が多い小中学校行事や夏祭り等での使用回数を設定。目標値については、各地区で行われる夏祭りの回数をベースに設定。		2,479

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	見込
①	活動指標	回	5	5	5	7	5	5	5	
②	対象指標	人	58,237	59,067	58,474	6,008	60,100	60,900	59,788	
③	成果指標	件	15	20	20	20	20	20	20	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2	6	5		1	5	5
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	20	20	28	31	32	28	28	
	(A)事業費計	千円	22	26	33	31	33	33	33	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	1	3	1	2	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	8	22	20	21	20	20	20	
	(B)人件費計	千円	31	87	79	77	79	79	79	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	53	113	112	108	112	112	112	

事務事業名	合志音頭制作普及事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 各地で音頭の練習、実施をしていただいた。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 自治会等への普及も進んでおり達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後も継続して普及活動を行うことで、向上の余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 音頭制作に関しては類似事業はないが、普及活動については、軽スポーツの普及や生涯学習の場を活用することは可能である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 予算は、振付講師派遣時の講師の費用弁償のみであるため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 普及活動のみの人件費であるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 将来にわたって市民に広く普及し、継承していくものであり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 合志音頭は市のシンボルであり、行政が制作し普及を行うことは役割分担として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

振り付け講師の派遣を通じ、合志音頭の普及促進に貢献している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>【有効性改善】継続して実施することが改善につながる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						